

外来精神科診療シリーズ  
mental clinic support series

part  
II

精神疾患ごとの診療上の工夫

メンタルクリニックでの  
主要な精神疾患への対応 [ 1 ]

# 発達障害, 児童・思春期, てんかん, 睡眠障害, 認知症

編集主幹

原田 誠一

担当編集

森山 成彬

## 序 精神科臨床医の血と汗の記録

本巻で取り上げているのは、精神科臨床における五つの主要な分野である。発達障害、児童・思春期、睡眠障害、認知症の四つは、四半世紀前までは、現在ほどには重要視されていなかった。現時点での重要性を示す端的な指標は、2013年刊のDSM-5に占める頁数の多寡だろう。嗜癮関連疾患(110頁)、不安障害とストレス関連障害(合わせて72頁)、気分障害(66頁)の次に、睡眠障害(62頁)、発達障害(56頁)、認知症(54頁)と続く。

発達障害は、いわゆる知的障害から自閉症が分離されて半世紀が経過してようやく、内実がつまびらかになり、治療と援助の輪郭が見え始めている。その意味でこの分野にたずさわる臨床医の方々は、情熱に満ちた果敢なパイオニアばかりである。

児童・思春期の領域もまた同様に、3、40年前は手探りの状態にとどまっていた。欧米の大学では、成人の精神医学の講座数に比肩する数の小児精神医学の講座があるのに、わが国ではいまだにその数は乏しい。この領域に身を投じた臨床医の先生方も、勇気ある開拓者といえる。

てんかんは、30年前までほとんどの大学精神科、精神科病院で診療されていた。神経精神医学が精神医学になって以後、てんかんは小児科と神経内科に任された。しかし小児科が成人の患者を診続けるわけにはいかず、一方でてんかんを診る神経内科医も減り、患者と家族は苦境に立たされている。本巻でてんかんを取り上げた意義は誠に大きい。

わが国で初めて睡眠障害専門外来ができたのは、1981年久留米大学精神科である。以来わずか30数年しかたっていないのに、現在の睡眠学の充実には目を見張るものがある。本巻にはその知見の成果がたっぷり盛り込まれている。

認知症は、世界に先駆けて超高齢社会に突入したわが国において、将来ますます重要度を増していく。今後、新しい研究と臨床が創出されるのも、わが国においてに違いない。

私は長年、既存の精神科成書には不満を抱いていた。大御所からの論考に、著者の生の声が聞かれず、体温も感じられないからだった。本巻に集めた論文はいずれも、病を得た患者さんの生きづらさを支援する治療者の血と汗の記録である。各論文の著者の息づかいを感じた読者は、必ずや自身の臨床に大きな示唆を得、多大な勇気をもらうはずである。

2015年7月

森山成彬

目次

I 発達障害

1	精神科クリニックにおける発達障害診療の現状と課題	田中康雄	2
	1. はじめに… 2 / 2. 発達障害診療の現状… 2 / 3. 生活障害としての発達障害診療… 3 / 4. 発達障害診療とは生活障害への応援である… 5 / 5. おわりに… 9		
2	自閉症スペクトラム障害の分類, 診断, 疫学	石崎朝世	10
	1. はじめに… 10 / 2. 分類… 10 / 3. 診断… 12 / 4. 疫学… 14 / 5. おわりに… 15		
3	自閉症スペクトラム障害/アスペルガー障害の治療と支援	清水康夫	17
	1. はじめに… 17 / 2. 知的・言語的に遅れないASD… 18 / 3. 診察の手順… 18 / 4. 保護者の面接… 21 / 5. おわりに… 24		
4	ADHD と LD の治療と支援	川崎葉子	25
	1. はじめに… 25 / 2. ADHD… 25 / 3. LD… 28 / 4. おわりに… 33		
5	自閉症スペクトラム障害(自閉症)の生涯発達	村田豊久	34
	1. 自閉症スペクトラム障害ということについて… 34 / 2. 「自閉」ということについて考える… 35 / 3. 私の自閉症への治療的取り組み… 36 / 4. 成人期になった自閉症者の社会適応… 36 / 5. 中年期自閉症者の生活や対人関係… 37 / 6. 中年期の自閉症者が老年期になったときは… 38		
6	発達障害と家族	岩佐光章	41
	1. はじめに… 41 / 2. 家族から医療情報を得る… 41 / 3. 家族との面接の基本的な考え方… 43 / 4. 発達障害の診断を家族に伝える… 44 / 5. 家族との面接における「局面」… 45 / 6. 家族との面接における特殊な局面: 家族自身のこととして発達障害に関する相談があった場合… 47		
7	発達障害の薬物療法	米田衆介	48
	1. はじめに… 48 / 2. 何を薬物療法の目標にするのか… 48 / 3. 薬物療法と生活療法の結合… 49 / 4. 不安・抑うつ気分… 50 / 5. 躁状態・幻覚妄想状態… 51 / 6. 感覚過敏・焦燥感… 51 / 7. こだわり・"フラッシュバック"… 52 / 8. 多動・不注意・実行機能障害… 53 / 9. てんかん・知覚変容… 54 / 10. 不眠・過眠・概日リズム障害… 54		
	<b>心に残る症例</b> 小児自閉症(自閉症スペクトラム障害)	栗田 広	56
	1. はじめに… 56 / 2. 乳幼児期… 56 / 3. 小学校時代… 58 / 4. 中学校時代… 59 / 5. 高校時代… 59 / 6. 就労… 60 / 7. おわりに… 60		
	<b>エッセイ</b> 発達障害の原因と発症メカニズムにかかわる環境化学物質について	黒田洋一郎, 木村-黒田純子	62
	1. はじめに… 62 / 2. ヒト脳の発達基盤… 63 / 3. 遺伝要因の過大評価… 63 / 4. 500以上の自閉症関連遺伝子が作る遺伝子背景… 63 / 5. 発達障害児の脳… 64 / 6. なりやすさを決める“遺伝子背景”と引き金を引く“環境因子”… 64 / 7. 脳の発達を攪乱, 阻害する環境化学物質にはどんなものがあるか… 65 / 8. 遺伝毒性をもつ環境化学物質や放射線による <i>de novo</i> の突然変異による自閉症リスクの上昇… 65 / 9. 自閉症など発達障害と DOHaD 概念… 65 / 10. おわりに… 66		

## II

## 児童・思春期

1	子どもの精神療法（心理療法）	川畑友二	68
	1. 精神療法と子どもの特性… 68 / 2. 見立ての重要性… 69 / 3. 面接の実際… 71 / 4. 共感… 71 / 5. 家族に対して… 73 / 6. おわりに… 74		
2	児童・青年期の外来診療の現状と課題—身体技法を基盤にした治療の展開	竹田康彦	75
	1. はじめに… 75 / 2. 診療の現状—症例提示… 76 / 3. 診療の現状—症例の考察から… 79 / 4. まとめ—診療の課題… 82		
3	思春期のうつ病と双極性障害，思春期妄想症	山登敬之	84
	1. うつ病… 84 / 2. 双極性障害… 86 / 3. 思春期妄想症… 88		
4	不登校，ひきこもり	西川瑞穂	90
	1. はじめに… 90 / 2. 定義と統計… 90 / 3. 当院における不登校，ひきこもりの実態… 92 / 4. 症例提示… 92 / 5. まとめ… 95		
5	依存症（携帯電話，メール，ネット依存を含む），アディクション，自傷行為（リストカットなど）	大石雅之	96
	1. はじめに… 96 / 2. 依存症の理解… 96 / 3. 依存症の治療… 98 / 4. おわりに… 101		
6	虐待・いじめの実情と対応	横田圭司	102
	1. はじめに… 102 / 2. 虐待へのメンタルクリニックの役割… 102 / 3. いじめへのメンタルクリニックの役割… 106 / 4. おわりに… 108		
7	現代社会における児童・思春期のこころの発達とその病理	大高一則	109
	1. はじめに… 109 / 2. 子どもを取り巻く社会… 110 / 3. 「格差」社会から「貧困」社会へ… 111 / 4. おわりに—望まれる「社会」の懐の深さ… 114		
	心に残る症例 思春期精神科外来で出逢う親子二世代病理	清水将之	115
	エッセイ ひきこもりの病理と対応	中野育子	120
	1. はじめに… 120 / 2. いつ頃，どこから… 120 / 3. ひきこもりの病理—特に長期化リスクについて… 121 / 4. ひきこもる側の理解—長期化リスクについて… 122 / 5. 対応について… 123 / 6. おわりに… 124		

## III

## てんかん

1	精神科クリニックにおけるてんかん診療の現状と課題	伊藤ますみ	126
	1. 進む精神科のてんかん離れ… 126 / 2. 症例提示… 127 / 3. 精神科によるてんかん診療が必要な理由… 128 / 4. 精神科クリニックの取り組みとこれから… 130		
2	てんかんの診断・治療	緒方 明	132
	1. はじめに… 132 / 2. てんかんの診断… 132 / 3. てんかんの薬物療法… 136		

3	小児・成人・高齢者のてんかん治療	田中正樹	138
	1. はじめに… 138 / 2. 高齢者のてんかん… 139 / 3. 成人のてんかん… 141 / 4. 小児のてんかん… 144 / 5. おわりに… 146		
4	妊娠・出産・母乳哺育を望む女性患者への対応	山本 忍	148
	1. はじめに… 148 / 2. 妊娠前… 148 / 3. 妊娠中… 151 / 4. 出産時および産褥期… 152 / 5. 出産後… 152 / 6. 結語と今後の課題… 154		
5	主な抗てんかん薬の特徴, 使い方, 副作用—新規抗てんかん薬を含めて	福智寿彦	156
	1. てんかんの薬物療法を行うにあたって… 156 / 2. それぞれの抗てんかん薬の特徴, 使い方, 副作用… 158		
6	てんかんに伴う精神症状, 心因性非てんかん性発作 (PNES) の診断と治療	村田佳子, 渡辺雅子	164
	1. てんかんに伴う精神症状… 164 / 2. 心因性非てんかん性発作 (PNES) … 169		
7	薬物療法以外のてんかん治療—てんかん外科, 生活指導, 精神症状における留意点と向精神薬の使用	中村文裕	173
	1. てんかん外科治療について… 173 / 2. 生活指導について… 175 / 3. 精神症状における留意点と向精神薬の使用について… 178		
	心に残る症例	細川 清	181
	1. はじめに… 181 / 2. 症例提示… 181 / 3. まとめ… 186		
	エッセイ てんかんと自動車運転免許	相川 博	187

## IV 睡眠障害

1	精神科クリニックにおける睡眠障害診療の現状と課題	伊東若子, 井上雄一	194
	1. はじめに… 194 / 2. 精神科による睡眠障害センター… 195 / 3. 睡眠-覚醒障害の診断の現状と課題… 195 / 4. 睡眠障害概説… 197 / 5. おわりに… 200		
2	不眠症の診断と治療	有吉 祐	202
	1. 不眠症の定義… 202 / 2. 不眠症の診断… 203 / 3. 不眠の評価… 203 / 4. 不眠症の治療… 205 / 5. おわりに… 209		
3	過眠症, 睡眠時無呼吸症候群, 概日リズム性睡眠障害の診断と治療	田中春仁	211
	1. はじめに… 211 / 2. 中枢性過眠症群 (central disorders of hypersomnolence) … 211 / 3. 睡眠関連呼吸障害群 (sleep related breathing disorders) … 215 / 4. 概日リズム睡眠-覚醒障害群 (circadian rhythm sleep-wake disorders) … 216		
4	高齢者の睡眠障害—レストレスレッグス症候群, 周期性四肢運動障害, レム睡眠時行動障害	中島 亨	220
	1. はじめに… 220 / 2. レストレスレッグス症候群… 220 / 3. 周期性四肢運動障害… 222 / 4. レム睡眠時行動障害… 223 / 5. 認知症における睡眠時随伴症… 225 / 6. 薬剤性の睡眠時随伴症… 226 / 7. おわりに… 226		

5	アルコール、カフェイン、医薬品摂取に伴う睡眠障害	内山 真 227
	1. はじめに… 227 / 2. 嗜好品による睡眠障害… 227 / 3. 身体疾患治療薬に関連した睡眠障害… 230 / 4. 向精神薬に関連した睡眠障害… 231 / 5. 物質・医薬品による不眠の治療方針… 233	

6	睡眠薬・精神刺激薬の処方のコツ—「適正な利用法」と「スムーズな漸減～中止法」	梶村尚史 234
	1. はじめに… 234 / 2. 睡眠薬の使い方… 234 / 3. 精神刺激薬の使い方… 238 / 4. おわりに… 240	

7	薬物療法以外の睡眠障害の治療—生活指導、精神療法、高照度光療法	堀川喜朗 241
	1. はじめに… 241 / 2. 基本的な考え方—ストレスケアの視点から不眠治療をとらえる… 241 / 3. 生活指導（睡眠衛生教育および指導）… 243 / 4. 精神療法… 244 / 5. 高照度光療法… 245 / 6. その他の非薬物療法… 246 / 7. おわりに… 246	

	心に残る症例 周期性傾眠症の例	飯島壽佐美 247
	1. はじめに… 247 / 2. 症例提示… 248 / 3. 病態解明に向けての考察… 249 / 4. おわりに… 252	

	エッセイ メラトニンと睡眠—特に「メラトニン受容体同定」と「ラメルテオン（ロゼレム <sup>®</sup> ）」について	海老澤 尚 254
	1. はじめに… 254 / 2. メラトニンおよびその受容体研究の歴史… 254 / 3. メラトニンの睡眠に対する効果… 255 / 4. メラトニン受容体作動薬ラメルテオン… 257	

	エッセイ 睡眠-覚醒とオレキシナーナルコレプシーからスボレキサントへ	本多 真 260
	1. はじめに… 260 / 2. ナルコレプシーとは… 260 / 3. ナルコレプシーの状態不安定モデル… 261 / 4. オレキシニン1受容体とオレキシニン2受容体… 263 / 5. スボレキサントの臨床研究… 264 / 6. オレキシニン受容体阻害薬の今後の課題… 265	

## V 認知症

1	精神科クリニックにおける認知症診療の現状と課題	植木昭紀 268
	1. はじめに… 268 / 2. 診療の流れ… 269 / 3. 診療統計… 269 / 4. 今後の課題… 273	

2	認知症の分類と診断	尾籠晃司 276
	1. 認知症の概念… 276 / 2. 認知症の分類… 276 / 3. 認知症の診断… 277 / 4. 認知症の原因疾患… 279 / 5. おわりに… 284	

3	認知症のメンタルヘルス—認知症の心理社会的経過と対応	高橋幸男 286
	1. はじめに… 286 / 2. “悩める”認知症の人の不安やつらさの内実… 287 / 3. 認知症を病むことの心理社会的経過（“からくり”）… 288 / 4. 認知症の人と家族のメンタルヘルスと対応… 290 / 5. まとめに代えて… 292	

4	認知症のデイケア、認知症介護者の支援、成年後見制度、終末期医療	宋 仁浩 294
	1. 認知症のデイケア… 294 / 2. 介護者の支援… 299 / 3. 成年後見制度… 299 / 4. 終末期医療… 300	

<p><b>5 アルツハイマー型認知症, レビー小体型認知症の薬物療法—認知症治療薬の特徴と利用法</b></p> <p>1. アルツハイマー型認知症における ChE 阻害薬の役割… 301 / 2. レビー小体型認知症の薬物療法… 307</p>	<p>北村ゆり 301</p>
<p><b>6 軽度認知障害 (MCI) の診断と治療</b></p> <p>1. はじめに… 309 / 2. AD の進行経過と MCI… 309 / 3. MCI の症例と概念… 311 / 4. MCI の診断と問題点… 312 / 5. MCI の有病率と進行… 313 / 6. MCI に対する対応：生活習慣… 314 / 7. MCI への薬物療法と認知リハビリテーション… 316 / 8. おわりに… 316</p>	<p>宇野正威 309</p>
<p><b>7 脳血管性認知症, 認知症を伴うパーキンソン病</b></p> <p>1. 脳血管性認知症… 319 / 2. パーキンソン病… 322 / 3. 進行性核上性麻痺… 324</p>	<p>井上尚英 319</p>
<p><b>心に残る症例 心に残る認知症症例</b></p> <p>1. はじめに… 327 / 2. レビー小体型認知症 (DLB) … 327 / 3. 石灰沈着を伴うびまん性神経原線維変化病 (DNLC) … 329 / 4. 辺縁系神経原線維変化型認知症 (LNTD) … 330 / 5. おわりに… 332</p>	<p>小阪憲司 327</p>
<p><b>エッセイ 老いのソウロロジー (魂学) と認知症の臨床</b></p> <p>1. はじめに… 334 / 2. おわりに… 337</p>	<p>山中康裕 334</p>

## 執筆者一覧 (執筆順)

田中康雄	こころそだちのクリニック むすびめ：北海道
石崎朝世	発達協会王子クリニック：東京
清水康夫	横浜市総合リハビリテーションセンター：神奈川
川崎葉子	むさしの小児発達クリニック：東京
村田豊久	元村田子どもメンタルクリニック／村田子ども教育心理相談室：福岡
岩佐光章	横浜市総合リハビリテーションセンター発達精神科：神奈川
米田衆介	明神下診療所：東京
栗田 広	全国療育相談センター：東京
黒田洋一郎	環境脳神経科学情報センター：東京
木村-黒田純子	東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト：東京
川畑友二	クリニック川畑：東京
竹田康彦	福岡心身クリニック：福岡
山登敬之	東京えびすさまクリニック：東京
西川瑞穂	かく・にしかわ診療所：大阪
大石雅之	大石クリニック：神奈川
横田圭司	ながやまメンタルクリニック：東京
大高一則	大高クリニック：愛知
清水將之	三重県特別顧問：三重県
中野育子	札幌こころの診療所：北海道
伊藤ますみ	上善神経医院：北海道
緒方 明	荒尾こころの郷病院：熊本
田中正樹	田中神経クリニック：神奈川
山本 忍	やまもとクリニック：大阪
福智寿彦	すずかけクリニック：愛知
村田佳子	国立精神・神経医療研究センター病院：東京
渡辺雅子	新宿神経クリニック：東京
中村文裕	さざ波てんかん神経クリニック：静岡
細川 清	原尾島クリニック：岡山
相川 博	大宮西口メンタルクリニック：埼玉
伊東若子	睡眠総合ケアクリニック代々木：東京
井上雄一	睡眠総合ケアクリニック代々木：東京
有吉 祐	有吉祐睡眠クリニック：福岡
田中春仁	岐阜メイツ睡眠クリニック：岐阜
中島 亨	杏林大学医学部精神神経科：東京
内山 真	日本大学医学部精神医学系：東京
梶村尚史	むさしクリニック：東京
堀川喜朗	久留米セントラルクリニック：福岡
飯島壽佐美	秋田回生会病院：秋田
海老澤 尚	横浜クリニック：神奈川
本多 真	東京都医学総合研究所睡眠障害プロジェクト：東京
植木昭紀	うえき老年メンタル・認知症クリニック：兵庫
尾籠晃司	福岡大学医学部精神医学：福岡
高橋幸男	エスポアール出雲クリニック：島根
宋 仁浩	北山通ソウクリニック：京都
北村ゆり	菜の花診療所：高知
宇野正威	オリーブクリニックお茶の水：東京
井上尚英	相生リハビリテーションクリニック／新王子病院：福岡
小阪憲司	ヒルデモアクリニック医菴 センター南：神奈川
山中康裕	京都ヘルメス研究所／京都大学名誉教授：京都